

事業番号	05 09 03	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	公衆浴場確保対策事業			担当課	部局	健康福祉部	
					課・局・室	食品・生活衛生課	
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail	<a href="mailto:shokusei@pref.nagano.lg.jp">shokusei@pref.nagano.lg.jp</a>	
	施策の総合的展開	4-2 県民生活の安全確保 4 食品・医薬品等の安全確保		実施期間	S48 ~		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針						
	施策展開						

1 事業の概要

目指す姿	公衆衛生の向上及び増進並びに住民福祉の向上に資する公衆浴場(入浴料金の統制を受けるいわゆる「銭湯」)の経営の安定化を図り、住民の日常生活における利用機会を確保する。					
現状(予算編成時)	銭湯は、物価統制令の規定により、入浴料金を知事が指定しており、公衆浴場の確保のための特例措置に関する法律の規定による金融、税制上の優遇措置等の諸施策が実施されているが、利用者の減少に伴う収益の減少、経営者の高齢化、施設・設備の老朽化、後継者の確保難等厳しい経営環境にある。					
県が関与する理由	県関与の必要性あり		【左記の説明、根拠法令等】			
	県民との協働による実施：実施は困難		公衆浴場の確保のための特別措置に関する法律 自家風呂を持たない住民の入浴機会の確保を図る必要がある。			
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)					
	経営基盤が弱い営業者の施設(銭湯)の基幹設備の改善要望に対する補助を行い、施設の減少に歯止めをかけ、入浴機会を確保する。 ・営業施設廃業数について、平成24年～26年度の施設平均廃業数(年1件)以下にする。					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H28事業実績	H28		H29
				(当初)	(決算)	(当初)
	設備改善事業補助金	補助金	・補助内容 基幹設備の改善に対する補助(平均入浴人員が150人未満の営業者に対する市町村補助額の1/2以内)			
			6,760	6,483	5,304	
		合計	6,760	6,483	5,304	
事業コスト	区分(単位:千円)		27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況
	予算額	前年度繰越				
		当初予算	7,387	6,760	5,304	
		補正予算				
		合計(A)	7,387	6,760	5,304	
	Aの財源	一般財源	7,387	6,760	5,304	
		県債				
		国庫支出金				
		その他	0	0	0	
	決算額(B)	7,387	6,483			
概算人件費	職員数(人)	3.60	3.60	3.60		
	概算人件費(C)	29,794	28,490	28,490		
概算事業費(B(A)+C)	37,181	34,973	33,794			
項目に対する成果の状況	経営を維持する上で緊急性が高いボイラーや配管等の基幹設備の修理等経費に対する設備改善事業補助金の交付により、営業者の事業継続に対する意欲を高めることができた。その結果、廃業数について目標を達成することができた。					

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない	<input type="checkbox"/> 事業を見直して実施	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	公衆浴場(銭湯)の利用者には、自家風呂を持たない人のみならず、一人住まいの高齢者など、自家風呂はあるが風呂の準備が大変な方などもあり、公衆浴場には衛生的で快適な生活を確保するというだけでなく、福祉向上の面もある。限られた予算の中で、入浴機会を必要とする方々のために、施設が維持継続できるよう支援を図る。		